日本を飛び出し海外へ！

2 留学編

希望を持って日本を飛び出し、留学したのち、降り立ったのは天国か地獄か。留学経験者が語るリアルな留学生活を取材してきました！

留学の天国と地獄を大調査

留学の基本データ

全国のCanCam読者200人に訊きました！

期間は2週間以上。18〜29歳の読者を対象に調査しました！

Q.行きたい留学先は？

1位 アメリカ　2位 カナダ　3位 オーストラリア

留学環境が整っている、英語圏の国に人気が集中！実際に留学した人に聞いても、アメリカがいちばん多く、次いでカナダ、オーストラリアの順でした。

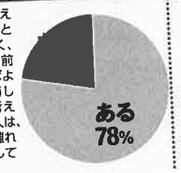
Q.留学したい理由は？

「英語をマスターしたい！」（よいこさん・24歳）

「スキルアップしたい！」（Mayaさん・27歳）

「新しい発見があり、考え方や人生観が変わりそう！」（ともみさん・25歳）

Q.留学を考えたことは？



留学を一度は考えたことがある、という意見が多く、「社会人になる前に行っておけばよかった」と後悔している人も。考えたことがない人は、家族や友人と離れることを懸念していました。

Q.留学したことは？

語学を目的とした短期留学が圧倒的に多く、次いで自己成長、異文化体験がありました。

ではリアルな体験談を見てみましょう！

地獄編「留学が遊学になり、成績悪化で退学→帰国」

アメリカの大学に留学していましたが、友達と遊ぶ生活が楽しくて成績が悪化。**大学では普通の学生も留学生も同様の扱いなので、成績が悪い私はなんと退学に！** もっとやりたいことがあったけど、ビザが学生ビザだからすぐに帰国しなくてはいけなくて、さよなら、アメリカ…。親には怒られ、最終的には呆れられました。（Tさん・25歳）

地獄編「シェアハウスは相手を選ぶべし」

留学中、一緒に暮らしていた外国人の女のコが早起きで、毎朝5時起床。私が寝ているにもかかわらず、大音量で音楽を聴きながらヨガをするのが日課。おかげで**ストレスが溜まり、文句を言っても、あなたの英語なんてわからないって感じで相手にされず…**。結局、睡眠確保のために私が家を移りました。（まなみさん・23歳）

天国編「失恋を忘れられた幸せ恋活留学♥」

失恋を機に、以前から考えていたアメリカ留学を決行。**語学を学びながら、積極的にボランティア活動に参加。誰かの役に立ち、ネイティブな人と会話ができ、出会いもある。**まさに、私にとって最高の活動。運営している素敵な男性とも運命の出会いがあり、今は遠距離恋愛中。近々嫁ぎに行きます！（Kさん・25歳）

天国編「ボランティアで苦手意識を克服」

台湾の子供たちに**日本の文化や言葉を教えるという、ちょっと変わったボランティア留学に参加。**実はちょっと子供が苦手だったのですが、積極的に関わっていたら「子供ってこんなに素直で元気なんだ！」と肌で実感し、大好きになりました。今はもっと子供たちと関わりたくて、小学生たちの陸上教室でコーチをしています♪（早坂麻奈美さん・T大学4年生）

地獄編「1年で10kgも太り、家族に別人かと驚かれた！」

アメリカのシアトルに交換留学生として1年間いました。**お世話になったホストファミリーがかなり大きい体型で……一緒に食事をしていたら感覚が麻痺し、結果10kg増！** 帰国してきたとき、空港で両親に気づいてもらえず、声をかけると二度見された！（朝さん・26歳）

地獄編「自信があった英語、発揮できなかったトラウマから、挫折…」

母が英会話講師、大学では英文を専攻していたので英語力はあるつもりでした。しかし、**実際に渡米して、ネイティブな人と話すと、出てくるのは単語ばかり。**きれいな会話ができないことが悔しくて…。それがトラウマになり、1か月で帰国。今はそのときのことが悔しくて、英会話を本気で勉強しています！（F・Sさん・22歳）

天国編「より上のスキルを身につけました」

日本で法学部を卒業したあと、渡米してロースクールへ行きました。**日本より少し勉強が大変なことは知っていましたが、これほどとは！と思うほどの勉強量。本当に遊ぶ暇がないほど勉強漬け。**しかし、おかげで好成績で卒業。日本の会社の法務部にもすんなり就職できて、よかったです！（スミレさん・27歳）

天国編「アメリカ人のパワフルさを見て、人として大きく成長」

大学2年生のときに夏休みを使ってアメリカの田舎に留学しました。**そこで出会ったアメリカ人はみんな前向きで、すごく家族を大切にしている素晴らしい方たちばかりでした！** 短期間でしたが、そこで生きるためのパワーをもらった気がします。おかげで就職活動の内定も勝ち取れた気がします。（ponさん・22歳）

天国編「浴衣で大学内のアイドルになる」

留学中、大学の友人に「フェスティバルがあるからコスプレしてきて！」と言われ、**日本から持ってきた浴衣で参加。**すると、「How Beautiful！」と友人たちだけでなく、見知らぬ人からも大絶賛！ 立ち止まるとまわりからシャッターの嵐で、まるでアイドル状態（笑）。おかげで、**大学の人気者状態になり留学生活がより楽しくスムーズになりました！！**（みーやさん・25歳）

天国編「事前準備のおかげですぐに現地の生活に溶け込めた♪」

岩崎彩香さん
大妻女子大学3年

事前準備をしっかりすることを、何度か留学したときに学びました。**語学力はもちろん、その国のマナーやしきたりなどを学んでおけば、現地で慌てないですみます。**ニュージーランドに留学したときも、事前に学んでおいたおかげで、ホストファミリーとすぐに打ち解け、勉強に集中することができました。留学は視野が広くなるし、周りに向上心のある仲間も増えて行くので、これからもどんどん挑戦していきたいです！

地獄編「彼との出会いは、地獄にも仏！」

一度就職しましたが、アメリカの大学院で学び直したくてお金を貯めて留学。**希望の大学院目指して2年勉強したのですが、入学条件に満たない英語力で、親からの資金援助も打ち切られ、断念することに。**落胆していましたが、私のお別れパーティで外資系企業に勤める優しい駐在員さんと出会い、今、遠距離恋愛中♥ このままうまくいって駐在員の妻になれたら、また大学院を目指したい！（ドキンさん・25歳）

天国編「英語は留学中も帰国後も、継続して学ぶ努力が必要！」

英語は覚えるのは難しいけど、忘れるのは簡単と聞き、帰国後は、留学中にできた海外の友達とスカイプしたり、定期的に英会話スクールに行って維持しています。英語が使える職場ならいいけど、そうでないなら努力はマスト！ おかげで帰国して2年経った今でもホストファミリーと英語で話せます♪（せりかさん・24歳）

地獄編「今さら中学時代の英語の文法って」

陸学学校に通っていましたが、時間の無駄な気がして、途中から通わなくなってしまいました！ その理由が配属されたクラス。そもそもクラス分けのときに会話ができず、低いレベルのクラスにされてしまったのが失敗。教えてくれる内容はわかりきった簡単な単語や中学生レベルの文法。もっと会話力を磨いておくか、学校について調べればよかった。（ミリさん・24歳）

地獄編「避けよう、ハイシーズン！」

カナダに短期留学したとき、少人数で学べるクラスと聞いていたのに、実際行ってみたら日本人がたくさん！ それもそのはず、時期は日本の夏休みで、短期留学生が集中するシーズン。いつもなら10名のクラスに15人!! 会話形式のクラスなのに、人が多いからあまり先生と会話できず。これなら、日本の英会話教室で勉強したほうがマシでした。（ルナさん・23歳）

地獄編「食事が合わなかった」

親の転勤で、強制的にロンドン留学。友人の輪が広がったこと、語学力が上達したことは一生の財産となったのですが、現地の料理がまったく口に合わなくて、外食しなくていけないときは本当につらかった…。（しのさん・21歳）

天国編「新聞のおかげで、語学のスキルUP」

親に「新聞はきちんと読みなさい」と言われて育ってきたので、留学中も一語一語にこだわりきながらも、新聞を読んでいました。おかげで、ホストファミリーとの会話が弾むようになったし、難しい単語や文法も理解できるようになった！（今日子さん・24歳）

地獄編「準備不足の初海外は危険」

留学が実は初海外だった私。**変圧器の存在を知らず、携帯を充電しようとしてショート!! 留学初日にして、携帯のない生活に。**週2回は両親に連絡する約束だったけど、携帯がないから面倒。10日間忘れたフリをして、両親にかなり心配させました。娘が海外に行ってまったく連絡つかなかったらそりゃ不安ですよね。悪いことしたな〜。（M・さん・24歳）

天国編「強い気持ちで1日も無駄にしない！」

海外の景色や文化に触れながら英語を学びたいと思い、アメリカのシアトルへ。1か月間と短い留学期間だったので、**1日も無駄にしたくない！という強い気持ちで現地の大学に通い、空いた時間は語学の勉強か、アメリカを知るために歩き回る生活。**おかげで1日1日とても新鮮でしたし、英語は字幕なしで洋画鑑賞ができるレベルに上達しました！（長谷川亜希さん・共立女子大学3年）

天国編「CAの夢は叶わなくても、夢中で勉強した経験は私のものになっています！」

辻 優美さん
自動車メーカー勤務・22歳

客室乗務員になる夢を叶えるために専門学校のプログラムでオーストラリアへ。英語を学びながら、現地の学校でも勉強。授業はしっかりと聞き、クラスメートとたくさん英語で会話をしました。いちばん苦労したのは専門用語。日常では使わないのでなかなか覚えませんでした。**それでもひとつずつ積み重ねていくことにより、TOEICは大幅にアップ！** 客室乗務員になれたかどうかは叶った！と言いたいのですが、希望していた航空会社の募集がなく断念することに。でも、当時培った根性を活かし、別の業界で思う存分お仕事をできているので

天国編「現地の生活を知るならスポーツ」

ワーキングホリデーでカナダに。**すっとジョギングをしてきたので、地元のジョギングクラブを探して入部。**走りながらほかの方と会話できるので、リスニングの勉強によかったです。また、**スポーツを通してつながれるので交流が深まりやすく、文化や生活、恋愛に至るまで幅広く教えてもらえました。**日本との違いをたくさん知ることができたのは大きな経験です。（かなさん・28歳）

地獄編「慣れたときが危ない海外生活！」

現地の生活に慣れてきた頃、**飲み物を買いにいくだけだからと、教室に本やノートなどを置きっぱなしにしていたら盗まれました！** 貴重品じゃないけど、買い直すとかなりの金額…。親に話したらこっぴどく怒られました。いつもの教室だからって安心しちゃダメですね。（マリアさん・25歳）

天国編「英語と美容、よくばり留学で就職が決定！」

大学卒業後、オーストラリアに留学を決めたものの、語学勉強だけではもったいない気がして、留学エージェントに相談。そこで教えてもらったのが、歴史のある美容専門学校。お金を貯めて、2年間勉強してきました。**おかげで、今は英語と美容スキルが活かせるホテルのエステサロンに就職が決まり、これからがとっても楽しみです。**（マキさん・25歳）

天国編「ベジタリアン生活でキレイになった！」

アメリカで半年お世話になったホストファミリーがベジタリアン。食卓に並ぶのは野菜や豆中心。豆腐も多く、サラダや豆腐ステーキで出てきました。**初めは肉や魚が恋しかったけど、異文化体験と思い、気持ちを切り替えたら案外楽しめるように（笑）。現地の家族がじゃがいもが好きだったので、私も肉なし肉じゃがを作って振る舞ったりしました。**野菜ばかりの生活だったからか、帰国後、友達に会うと「肌がキレイ！」と言われるんですよね♪（みなごさん・23歳）

天国編「せっかくだから、語学以外にも挑戦！」

カナダ留学中に、小さい頃から習っているクラシックバレエのクラスを受けました。教室の雰囲気がクラスの雰囲気に興味津々。行ってみると、クラスは男女混合。おじいちゃんやおばあちゃんもいてビックリ！ みんな、踊ることが大好き！という雰囲気が印象的で、私もこんなおばあちゃんになりたいと思いました。**語学目的でしたが、バレエの楽しさも再認識できた留学は、まさにターニングポイントに！**（北原佑季子さん・上智大学3年）

地獄編「交換レッスンで告白されてビックリ！」

フランスに留学中、大学内に日本に興味がある男のコがいて、日本語を教えることに。**しかし彼が本当に興味があったのは日本ではなく私。さすが愛の国っていうくらい、アプローチが直球で断っても断っても諦めてくれず、大変でした。**それ以降、日本語を教えるのは同性限定に。（さやかさん・23歳）

天国編「第二の故郷と第二の家族ができ」

アメリカ留学でお世話になったホストファミリーはフレンドリーでとても親切な人柄。**家には内緒で学校の友達を呼んで、お家でサプライズパーティを開いてくれたこともあります。1年間の留学が終わり、帰国するときには、家族みんなが空港まで来てくれて、「**なたは本当の家族だよ」と見送ってくれました。また会いに行きたい！（Yさん・25歳）

地獄編「日本語に英語で返すのはやめるべし」

25歳で会社を退職し、清水の舞台から飛び降りる決意で留学！「向こうでは絶対に英語しかしゃべらない！」と決めました。しかし、それを徹底し過ぎちゃって、学校で日本人のコに話しかけられても英語で返していたら、変な人扱いされてしまい、ショックー!!（S・Rさん・28歳）

地獄編「学校も職場も友達も…まわりはみ〜んな日本人！」

英語を勉強したくてワーキングホリデーでオーストラリアに行きました。現地に行けばどうにかなるでしょ♪ですが、気弱に行ってしまったのが失敗！ 語学学校では最低レベルのクラスに配属され、まわりは日本人ばかり。**って仕事を探しても、英語ができないから日本食レストランや日本人相手のお土産物屋さんばかり…。**お**る友達は日本人。**海外生活自体は楽しかったけど、オーストラリア人の友達はできなかったし、語学力も上がらなかった。何しに行ったんだろう…。（Sさん・26歳）

留学を成功させるために必要なこと！

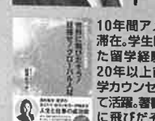
結論

成長する！ 自分を変える！という強い目的意識を持つ！

教えてくださったのは

留学界のカリスマ！

西澤めぐみさん
「成功する留学」チーフカウンセラー



10年間アメリカに滞在。学生時代に得た留学経験を基に20年以上前から留学カウンセラーとして活躍。著書に『世界に飛びだそう！目指せ！グローバル人材』。

留学中だけでなく留学後の目標も明確に！

「留学は向上心がある人、意識の高い人にぴったりの選択肢です。またそういう人になりたい方にもオススメ！ 日本と違う生活を体験し、学ぶことは、間違いなく自分の財産となり、知識やスキルだけでなく、人間として大きく成長できます。

それには、**ただの語学留学が目的ではダメ。**語学力の高い人は日本にたくさんいます。現在何かしらのスキルがあり、それを活かすために語学力が必要ならいいのですが、学生やスキルのない方が語学力だけ身につけても将来役に立つかどうか。**留学するなら語学以外にビジネスやマーケティングを学ぶなど、語学＋何かを求めてください。**英語＋中国語など、語学＋語学もありです。

とは言え、短期留学ですとそこまでは厳しい。それなら新しい経験や異文化体験など、自分の世界観が変わることに挑戦するのもひとつの手。短期の留学は長期留学するためのお試し体験としても活用できます。

もし長期留学をされるなら、せめて高校英語までは完璧に。現地で英語を学んでから大学に入ろうとする方がいますが、向こうに行けば目新しいものばかりで、ついつい遊びたくなってしまいます。結果、大学に行けず中途半端に帰国…なんて、もったいないですから。

留学すればワクワクする生活が待っていますが、日本のように与えられることを待っていてはダメ。**すべてにおいて積極性や主体性が求められます。留学後、どんな自分でありたいかを常に念頭に置き、それに向かって動きましょう。**

女性の場合、結婚・出産を前提とすると、留学の時間はかなり限られていることを多くの人は忘れがち。10年後の自分を見据え、一日でも早く踏み出してください。目的意識を持って行動すれば、きっと素敵な未来が待っています！」

留学を考えるならこの本が役立つ！

あの娘は英語がしゃべれない！
安藤優子・著
集英社
ニュースキャスターとして活躍する著者の、笑いあり涙ありの留学体験談を楽しめる一冊。

世界級キャリアのつくり方
20代、30代からの国際派プロフェッショナルのすすめ
黒川 清、石倉洋子・著　東洋経済新報社
〝プロ〟になるためのヒントが盛りだくさん。今後のキャリアを考えている方におすすめ！

ハーバード・ビジネス・スクールにて
土屋守章・著
中央公論新書社
日本では体験できない実践的教育を受けたい方、MBAを考え中の方におすすめの体験記。